

# 東日本大震災 連合救援ニュース

被災者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。

発行 連合災害対策救援本部

電話 03-5295-0539 FAX 03-5295-0547 [soshiki@sv.rengo-net.or.jp](mailto:soshiki@sv.rengo-net.or.jp)  
日本労働組合総連合会(連合) <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

## 1. 連合救援ボランティア 岩手へ出発

連合本部は、4月10日午前、岩手に派遣する連合救援ボランティアの第2陣約90名を送りました。同チームは、当初4月8日出発の予定でしたが、4月7日深夜に発生した地震により、現地の受け入れ態勢などを確認するため、2日遅れの出発となりました。宮古(活動場所は宮古周辺)と東和(釜石、大船渡、陸前高田周辺)の拠点に分かれ、4月16日帰着の予定でボランティア活動に取り組みます。

## 2. 連合救援ボランティア 一関チーム帰着

4月7日の地震により一旦活動を中止することが決まった一関チームは、4月9日午後に全員無事帰着しました。同チームは3月31日より、一関を拠点に気仙沼周辺で被災住宅・店舗の泥だし、家財の片付けなどを行ってきました。気仙沼周辺の活動の再開については、現在のところ未定です。

## 3. 古賀会長 海外に向けてメッセージ

連合の古賀会長は、海外に向けてのメッセージを発信しました。メッセージでは、海外からの支援への感謝の意を表するとともに、福島第一原子力発電所の事故を含め東日本大震災の被害状況を正確に伝え、日本製品等に対する風評被害感わされることのないように呼びかけています。連合の英語版ホームページに掲載されています。<http://www.jtuc-rengo.org/index.html>

## 4. アジア連帯委員会よりカンパ金

アジア連帯基金(CSA)から、義援金が届けられました。アジア連帯委員会は、タイ、ラオスを中心に福祉活動として「救援衣類をおくる運動」、教育支援として「小学校建設」、「高校生支援事業」を行い、恵まれない人々を支え、健全な経済社会開発への貢献に取り組んでいます(<http://www.ngo-csa.jp/>)。

届けられたカンパ金は、タイ、ラオスで学校作りに携わる現地建設会社、通訳、村の父兄などから寄せられたものです。



左より、水谷総合組織局長、南雲事務局長、大木 CSA 会長、渡邊 同事務局長

## 5. 「連合 680 万人の心をつないで更なる被災地支援を」

古賀連合会長は、4月11日、「連合 680 万人の心をつないで更なる被災地支援を」との呼びかけるメッセージを発信しました。(別添参照)